

～目 次～

あいさつ

例言

第1章 序論 -----	1
1 計画策定の沿革	1
2 計画策定の目的	1
3 他の計画との関係	2
(1) 計画の位置づけ	2
(2) 上位計画・関連計画	2
4 廉塾ならびに菅茶山旧宅の位置と計画策定区域	6
(1) 廉塾ならびに菅茶山旧宅の位置	6
(2) 計画策定区域	7
5 委員会の設置・経緯	8
(1) 委員会の設置	8
(2) 計画策定の経緯	10
6 計画の実施	11
第2章 特別史跡を取り巻く環境 -----	12
1 福山市の概況	12
2 自然環境	13
(1) 気象	13
(2) 地形・地質	14
(3) 水系・海域	14
(4) 植生・みどり	16
3 社会環境	17
(1) 交通条件	17
(2) 人口・世帯	18
(3) 産業	19
(4) 入込観光客等の動向と博物館の状況	21
(5) コミュニティと地域活動	24
(6) 特別史跡周辺の土地利用	26
(7) 特別史跡周辺の法規制	26
4 歴史環境	27
(1) 神辺平野の歴史と遺跡の概要	27
(2) 近世神辺宿の歴史	31
(3) 神辺町の歴史	33
(4) 近世神辺の文化活動	36
(5) 福山市の指定・登録文化財	39
(6) 特別史跡周辺の文化財と町並み(近世山陽道)	41

第3章 特別史跡の概要	49
1 指定に至る経緯	49
(1) 史跡指定に至る経緯	49
(2) 特別史跡指定に至る経緯	51
(3) 広島県史跡菅茶山の墓の指定に至る経緯（関連事項）	51
2 指定の状況	54
(1) 指定告示	54
(2) 指定説明文とその範囲	55
(3) 指定に至る調査成果	56
(4) 指定地の状況	60
3 特別史跡の現状	68
(1) 建物・工作物の配置と概況	68
(2) 指定地及びその周辺の地形	70
(3) 特別史跡の土地・建物の時代的特色及び修理の履歴	71
(4) 建物の破損状況	90
(5) 地下遺構の現状	93
(6) 植生の過去と現状	93
(7) 景観の現状	97
(8) 史資料の現状	99
第4章 特別史跡の本質的価値	101
1 特別史跡の本質的価値	101
(1) 菅家と廉塾の文化活動	101
(2) 菅茶山の業績と塾施設の関係	106
(3) 本質的価値	112
2 新たな価値評価の視点	113
3 構成要素の特定	114
第5章 特別史跡の現状と課題	117
1 保存（保存管理）	117
2 活用	118
3 整備	118
4 運営・体制の整備	119
第6章 大綱・基本方針	120
1 特別史跡の保存・活用の基本理念	120
2 特別史跡の保存・活用の基本方針	121

第7章 保存（保存管理）	122
1 方向性	122
(1) ゾーン及び地区区分	122
(2) 指定地における文化財の保存の方向性	124
(3) 特別史跡の周辺における文化財の保存や景観の保全・形成の方向性	125
2 方法	126
(1) 現状変更及び保存に影響を及ぼす行為の取扱方針と取扱基準	126
(2) 特別史跡の周辺における文化財の保存や景観の保全・形成の指針	129
(3) 追加指定	129
(4) 土地・建物の管理団体指定・公有化	130
(5) 調査・研究の継続的な実施	130
(6) 維持管理・点検の持続的な実施	130
第8章 活用	131
1 方向性	131
2 方法	131
第9章 整備	133
1 方向性	133
2 方法	133
第10章 運営・体制の整備	136
1 方向性	136
2 方法	136
第11章 施策の実施計画の策定・実施	137
1 施策の実施計画の策定	137
2 施策・事業の実施への対応	139
第12章 経過観察	140
1 方向性	140
2 方法	140
(1) 施策・事業の実施の状況の確認	141
(2) 実施した施策・事業の妥当性・効果の確認	143
(3) 保存・活用の基本理念への寄与と課題の把握	145